



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日  
東

上場会社名 株式会社京三製作所 上場取引所  
コード番号 6742 URL http://www.kyosan.co.jp  
代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名) 戸子台 努  
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 伸之 (TEL) 045-503-8106  
四半期報告書提出予定日 平成29年2月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	31,083	△5.1	△2,595	—	△2,199	—	△1,715	—
28年3月期第3四半期	32,758	△4.7	△2,743	—	△2,728	—	△1,981	—

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △1,281百万円(—%) 28年3月期第3四半期 △1,371百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△27.35	—
28年3月期第3四半期	△31.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	85,211	37,843	44.4
28年3月期	83,392	39,753	47.7

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 37,843百万円 28年3月期 39,753百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	△0.4	1,200	△38.4	1,400	△31.5	800	△43.8	12.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 — 社 — 、除外 — 社 —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年3月期3Q	62,844,251株	28年3月期	62,844,251株
29年3月期3Q	122,977株	28年3月期	120,492株
29年3月期3Q	62,722,670株	28年3月期3Q	62,725,216株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の継続等により、引き続き緩やかな景気回復基調が続いているものの、不安定な政治情勢がもたらす世界経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響から、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

また、当社グループの事業環境は、国内外を問わず熾烈な競争が継続しており、厳しい状況で推移しております。

このような事業環境の下、当社グループは前期よりスタートした3ヵ年の中期事業計画において、グローバル事業展開の加速を中心とした「成長戦略の推進」および利益確保に向けた既存領域における「事業構造改革」を推進しております。

受注につきましては、信号システム事業が好調に推移し前年同期を大きく上回り、電気機器事業も前年同期を上回ったことから、全体としては前年同期を上回りました。売上につきましては、電気機器事業は産業機器用電源装置の好調な受注を背景に前年同期を上回ったものの、信号システム事業において国内大口案件の今期売上が少ないことに加え、第4四半期以降への時期ずれなどが影響し、全体としては前年同期を下回りました。

利益面につきましては、売上が減少したものの、売上原価率の改善、販売費及び一般管理費の減少、為替差益の発生、金融費用の減少などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益ともに前年同期を上回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高50,877百万円（対前年同期比6,034百万円増）、売上高31,083百万円（対前年同期比1,674百万円減）、営業利益△2,595百万円（対前年同期比148百万円増）、経常利益△2,199百万円（対前年同期比528百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益△1,715百万円（対前年同期比265百万円増）となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。

## 〔信号システム事業〕

鉄道信号システムにおいて、受注につきましては、J R 東海・J R 西日本新幹線向けA T C 車上装置、東京地下鉄銀座線ホームドア、阪神電気鉄道野田駅信号設備、中国ハルビン地下鉄1号線信号設備、シンガポールチャンギ国際空港A P M 信号設備などがあり、前年同期を大きく上回りました。売上につきましては、ゆりかもめ向け信号設備、中国向け電子連動装置用品、米国オーランド国際空港A P M 信号設備、インド国鉄電子連動装置などがありましたが、国内大口案件の今期売上が少ないことに加え、第4四半期以降への時期ずれなどが影響し、前年同期を下回りました。

道路交通システムにおいては、受注につきましては、交通管制システムなどの大型案件が伸びず、前年同期を下回りました。売上につきましては、主力の交通信号制御機、交通信号灯器の拡販に努めた結果、前年同期と同水準となりました。

この結果、当事業では受注高40,335百万円（対前年同期比5,304百万円増）、売上高22,388百万円（対前年同期比2,974百万円減）となりました。なお、セグメント利益は△389百万円（対前年同期比461百万円減）となります。

## 〔電気機器事業〕

受注につきましては、通信設備用電源装置は前年同期と同水準にとどまったものの、産業機器用電源装置は、半導体製造装置用電源装置が3次元構造のNAND型フラッシュメモリーおよびロジック系半導体メーカーによる先端技術への設備投資に牽引され需要が大幅に増加するとともに、液晶パネル製造装置用電源装置も中国・韓国の設備投資が活況であったことから、全体としては前年同期を上回りました。売上につきましては、通信設備用電源装置が堅調に推移するとともに、産業機器用電源装置における半導体製造装置用電源装置および液晶パネル製造装置用電源装置の受注が伸長したことから、前年同期を大きく上回りました。

この結果、受注高10,541百万円（対前年同期比730百万円増）、売上高8,695百万円（対前年同期比1,300百万円増）となりました。なお、セグメント利益は833百万円（対前年同期比568百万円増）となります。

## (2) 財政状態に関する説明

### 〔資産、負債および純資産の状況〕

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて1,818百万円増加し、85,211百万円となりました。主な増減は以下のとおりであります。

資産の部は、たな卸資産が8,245百万円、有形固定資産が1,247百万円、投資有価証券が561百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が9,529百万円減少しました。

負債の部は、借入金が短期、長期あわせて6,200百万円増加し、支払手形及び買掛金と電子記録債務があわせて1,080百万円、受注損失引当金が342百万円、未払法人税等が300百万円それぞれ減少しました。

純資産の部は、その他有価証券評価差額金が346百万円増加し、利益剰余金が2,342百万円減少しました。

### 〔キャッシュ・フローの状況〕

当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ335百万円減少し4,329百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、2,537百万円のマイナスとなりました。これは売上債権が9,514百万円減少したものの、税金等調整前四半期純損失2,191百万円にくわえ、たな卸資産が8,232百万円増加し、仕入債務が1,129百万円減少したことが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3,303百万円のマイナスとなりました。これは有形、無形固定資産の取得にあわせて3,064百万円支出したことが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、5,526百万円のプラスとなりました。これは借入金が短期、長期あわせて6,200百万円増加したことと、配当金の支払に627百万円支出したことが主な要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想に関しましては、平成28年5月13日の決算発表時点と変更はありません。

なお、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ24百万円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度(平成28年3月 31日)	当第3四半期連結会計期間(平 成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,695	4,639
受取手形及び売掛金	26,768	17,238
製品	3,700	3,787
半製品	3,122	3,019
仕掛品	12,535	20,775
原材料及び貯蔵品	343	364
繰延税金資産	1,455	2,049
その他	523	1,321
貸倒引当金	△52	△14
流動資産合計	53,092	53,182
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,643	9,881
その他(純額)	5,267	4,277
有形固定資産合計	12,911	14,159
無形固定資産		
投資その他の資産	1,487	1,468
投資有価証券	14,583	15,145
繰延税金資産	29	20
その他	1,307	1,255
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	15,901	16,401
固定資産合計	30,300	32,029
資産合計	83,392	85,211

(単位：百万円)

前連結会計年度(平成28年3月31日) 当第3四半期連結会計期間(平成28年12月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,429	7,803
電子記録債務	3,992	3,536
短期借入金	6,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	1,985	2,329
未払法人税等	415	115
役員賞与引当金	25	—
受注損失引当金	930	588
環境対策引当金	24	21
その他	6,106	5,268
流動負債合計	27,908	29,663
固定負債		
長期借入金	10,715	12,570
退職給付に係る負債	3,254	3,140
資産除去債務	125	136
環境対策引当金	22	23
繰延税金負債	1,434	1,632
その他	179	201
固定負債合計	15,731	17,704
負債合計	43,639	47,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,270	6,270
資本剰余金	4,625	4,625
利益剰余金	23,878	21,535
自己株式	△41	△42
株主資本合計	34,731	32,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,492	5,838
為替換算調整勘定	△47	△67
退職給付に係る調整累計額	△424	△316
その他の包括利益累計額合計	5,021	5,455
純資産合計	39,753	37,843
負債純資産合計	83,392	85,211



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27 年12月31日)	当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28 年12月31日)
売上高	32,758	31,083
売上原価	27,751	26,017
売上総利益	5,006	5,066
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,977	1,996
賞与	560	536
退職給付費用	234	256
減価償却費	273	271
荷造及び発送費	701	641
貸倒引当金繰入額	22	△36
その他	3,980	3,996
販売費及び一般管理費合計	7,749	7,661
営業損失(△)	△2,743	△2,595
営業外収益		
受取配当金	175	188
受取保険金	125	160
受取補償金	2	4
為替差益	—	102
その他	89	101
営業外収益合計	392	558
営業外費用		
支払利息	125	99
資金調達費用	161	24
持分法による投資損失	29	16
為替差損	51	—
その他	9	22
営業外費用合計	376	162
経常損失(△)	△2,728	△2,199
特別利益		
固定資産売却益	2	75
投資有価証券償還益	185	—
特別利益合計	188	75
特別損失		
固定資産除売却損	26	52
環境対策引当金繰入額	—	14
その他	0	—
特別損失合計	27	67
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,566	△2,191
法人税等	△585	△476
四半期純損失(△)	△1,981	△1,715
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,981	△1,715

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)
四半期純損失(△)	△1,981	△1,715
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	596	346
為替換算調整勘定	△70	△0
退職給付に係る調整額	83	107
持分法適用会社に対する持分相当額	—	△19
その他の包括利益合計	609	434
四半期包括利益	△1,371	△1,281
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,371	△1,281
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,566	△2,191
減価償却費	1,399	1,380
貸倒引当金の増減額(△は減少)	21	△38
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16	40
持分法による投資損益(△は益)	29	16
受取利息及び受取配当金	△196	△203
支払利息	125	99
投資有価証券償還損益(△は益)	△185	—
売上債権の増減額(△は増加)	12,055	9,514
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,516	△8,232
仕入債務の増減額(△は減少)	△975	△1,129
その他	△572	△1,461
小計	1,634	△2,204
利息及び配当金の受取額	181	204
利息の支払額	△106	△99
法人税等の支払額	△835	△437
営業活動によるキャッシュ・フロー	874	△2,537
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△493	△322
定期預金の払戻による収入	489	62
投資有価証券の取得による支出	△30	△110
関連会社株式の取得による支出	△258	—
投資有価証券の償還による収入	242	—
有形固定資産の取得による支出	△1,309	△2,691
無形固定資産の取得による支出	△287	△373
その他	71	131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,576	△3,303
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△3,350	4,000
長期借入れによる収入	9,000	3,300
長期借入金の返済による支出	△4,880	△1,100
配当金の支払額	△627	△627
その他	△64	△45
財務活動によるキャッシュ・フロー	78	5,526
現金及び現金同等物に係る換算差額	△55	△21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△678	△335
現金及び現金同等物の期首残高	4,623	4,665
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,944	4,329

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	25,363	7,395	32,758	—	32,758
セグメント間の内部 売上高または振替高	17	383	400	△400	—
計	25,380	7,778	33,158	△400	32,758
セグメント利益または損失(△)	72	265	337	△3,081	△2,743

(注)1 セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,081百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	7,402	192	7,595
II 連結売上高(百万円)	—	—	32,758
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	22.6%	0.6%	23.2%

(注)1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・韓国、台湾等

(2) その他・・・・・・アメリカ等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額(注)1 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2 (百万円)
	信号システム 事業 (百万円)	電気機器 事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
外部顧客に 対する売上高	22,388	8,695	31,083	—	31,083
セグメント間の内部 売上高または振替高	4	330	335	△335	—
計	22,393	9,026	31,419	△335	31,083
セグメント利益または損失(△)	△389	833	444	△3,039	△2,595

(注)1 セグメント利益または損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用3,039百万円が含まれております。なお全社費用は管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益または損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(参考情報)

## 【海外売上高】

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

	アジア	その他	合計
I 海外売上高(百万円)	8,923	1,258	10,182
II 連結売上高(百万円)	—	—	31,083
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	28.7%	4.1%	32.8%

(注)1. 地域は、地理的近接度により区分しております。各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・・・・韓国、中国等

(2) その他・・・・・・アメリカ等

2. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。